

# 東京都病院協会 会報

東京都病院協会  
医療共済制度 引受保険会社



MetLife  
メットライフ生命

2019年(令和元年)7月29日

第267号

毎月1回 定価200円(会員購読料は会費含む)

発行所：一般社団法人東京都病院協会／発行人：猪口正孝 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号室  
TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL : http://www.tmha.net / E-mail : tmha@mri.biglobe.ne.jp

## 会長就任のご挨拶

東京都病院協会会長 猪口 正孝



### はじめに

東京都病院協会会員の皆様、6月18日の東京都病院協会定時総会および役員選任理事会にて会長に選出されました。「超人」である前会長の河北博文先生を思うと、戸惑いがないわけはありませんが、就任した以上一生懸命努力する所存ですのでよろしくお願いたします。

### 歴史

さて、東京都病院協会(以下都病協)は1997年4月1日、東京都医師会会長であった福井光壽先生のご尽力で、東京における病院6団体、すなわち全日本病院協会東京都支部、東京精神病院協会(現 東京精神科病院協会)、東京都私立病院会、東京都病院労務管理協会、日本医療法人協会東京都支部、日本病院会東京都支部をまとめる団体として設立され、荘進先生が初代会長に就かれました。設立後20年以上もた

った現在では、都病協の中では母体6団体の影も薄くなり、どうして都病協が生まれたのかご存じない方も多くいらっしゃると思います。調べてみますと、設立以前の1988年に東京都病院団体連絡協議会が6病院団体によって統合を目的に結束され、10年弱の間に90回の定例会と30回の統合検討委員会を開催して、やっとのこと設立に至ったと会報創刊号と2006年の10周年記念号に記されております。

創刊号に、本会の目的を「都民の保健・医療・福祉に寄与することを目的とし、東京都における既存の六病院団体をまとめる窓口になるとともに都内に存在する全ての病院等が高い倫理観のもとに一致協力して、医療の質の向上と健全経営に関する諸般の問題を調査研究し、病院等の組織、医療の充実及び発展を図り、経営の安定化に資するものとする。」と古畑正常任理事(当時)の記事で報じています。同号で広報委員会は「本会が東京都の病院の意見を代表する団体として、難産の末生まれた行政への窓口となる期待の一粒種(要約)と表現しました。当時、都行政から窓口医療団体として認識されていたのは東京都医師会(以下都医)のみ。病院団体は意見をまとめることができず全く蚊帳の外であり、都医は知己病院に意見を聴くほかに、病院を代表する意見を聴取するすべがな

つたと思われま

### 現状

設立経緯から都病協はさつそく東京都や都医から窓口団体として認識され、東京都の行政施策に大きくかかわってきたかという点、私が15年前に都病協役員に就任した当時でも、なかなかそのようなにはなっていないでし

た。依然東京都の窓口団体は都医のみであり、都医は都病協を窓口として病院の意見を聴取してはくれますが、常に判断は都医側にあり、都との交渉で必ずしも都病協の意見が俎上に載るとは限りませんでした。  
8年前に野中博先生が都医会長に就任して以来、都病協推薦都医役員が誕生し状況は一変します。現在では都病協推薦の3人が都医の役員として病院にかかわる業務をこなしています。東京都行政と交渉する者は都医の役員であるが、都病協推薦の者であります。この形は東京の医療界にとっていい形に思います。都病協会長である私が都医の副会長にあることで、都病協は都医の下位組織に甘んじるのかと懸念される方もいると思いますが、病院の意見を都医の方針として決定する手続きは都病協から見ても透明性があり、都病協推薦役員は都行政と直接的な意見を交換することもできます。そして医師会から見れば、医療全体の代表であるという形が保たれ、そのため意見を東京都に強く出せるようになっていくと思います。また、地域包括ケアなどで診療所と病院が密接な連携を構築する必要が出てきている今日、実質的な討議も医師会内で行えるようになってきています。22年前の一粒種が大輪とは

### 将来と抱負

都病協の行う業務課題として河北博文前会長は2006年10周年時に会報で

① 東京都民がよい医療を得られること  
② 会員病院にとって納得できる医療制度を構築すること  
③ 東京都民と会員病院を対象に有意義な情報をできるだけ提供すること  
④ 会員病院は研究、研鑽に励むこと  
⑤ 団体として当然ならなくてはならない交渉を行うこと  
を挙げておられます。今後も都病協はこの課題にあたっていくことはもちろん、そのために足元を固め、地域医療構想、医師偏在問題、働き方改革などの目の前の具体的な事象に取り組みなければなりません。  
現在東京都の病院数640に対して会員は358病院。組織率は55・9%です。病院団体が意見を述べ、発言が説得力を持つためには、3分の2にあたる427病院の会員数をもつて一人前に思っています。今後会員数増強を目指していきたいと思っています。  
後進の育成も必要です。今直面している課題は5年後の未来に係わります。5年後主役にいる者たちが当事者意識を持ち議論をする必要があります。委員会には意識を持った新人を登用したいと考えています。  
今後は先輩方の偉大なる業績と発想を踏まえ、問題に向かっていく所存です。会員の皆様のご協力をよろしくお願いたします。

\* 東京都病院協会報 108号  
「俗人は自分を世の中に適合させるが、超人は自分に世の中を適合させようと頑張る。だから世の中の進歩は超人のおかげである」

# 会長退任にあたって

東京都病院協会前会長  
名誉会長

河北 博文



1981年に留学を終え帰国した時、我が国の社会全般に

関し思い当たった現象が3つありました。自国に対するカルチャーショックであつたわけです。第一は、日本の社会は同質性の社会であるというこ

と。とりわけ医療ではその傾向が強い感じがしました。同質性ということは、違いを認めないという体質であり、全て一律に同じであるはずだという前提を持つています。このことを「公平」という言葉で表すようにしています。良いものを良いとせず、良いものが伸びることを阻害し、他方、悪いものを悪いとしないで、それらの存続を黙認することです。多様性を排除してしまうことは、評価を受け入れないことでもあります。実際には人は外見が違うだけではなく考え方も多様であり、物事も様々なのです。それを同一視することの方が無理があります。そうであればその違いを明確にした上で、それぞれに適切に対応することが望ましいと思つています。このことが「公正」であると考えています。

二つ目は、組織経営・運営のマネジメントの欠如です。病院経営に限ったことではなく、企業経営にも、政治・行政にも共通します。当時は、皆が、依存的であり、右肩上がりの経済成長がさらに続くという幻想のもとに、行政の指示、管理に委ねがちな姿勢でありました。マネジメントを一言で示せば「主体的に、継続して社会価値を創造していくこと」です。組織の基本的な物事の考え方である理念に基づき、社会から得られる人と資金を資産として、良質の情報を活用しながら社会に貢献し続け

ていく継続性のある組織を Visionary Organization と言います。

三つ目は、判断に関して論理性が欠如していました。例えば、医療における診療にも、根拠に基づいた診断と治療、それに続く説明責任が見られず、医療以外にあつても、情報の記録の大切さ、後利用を前提とした情報システムの構築、データベースの活用からの意思決定の重要性が未だ示されてはいない時代でした。

これらのことを課題としながら、その後、医療政策や病院経営に携わってきました。河北総合病院をフィールド(現場)として提供して、数名の先輩方の指導を受けながら、評価基準に基づく医療の第三者評価システムを構築し、それが現在の公益財団法人日本医療機能評価機構の設立につながっています。医療の質を向上するため、病院が自主的に審査を受審し、結果として認定に至ります。そして、科学的根拠に基づいた診療がなされるよう、臨床ガイドラインを示し、臨床指標の比較が論じられるようになりました。また、医療事故に関する情報を収集し、分析して、その結果を現場と社会に提供する事業が行われています。医師が優位であつた診療の現場は患者さん参加型の、患者さんを主体とするものに変わりつつあります。しかし、違いを認めたがらない同質性の社会に評価を持ち込むことは未だに困難なことが多いことも事実です。

東京都病院協会の会長としても、都内の病院が、自らの権限と責任において、適切な診療を担い、活力ある組織運営が可能になる環境創りを目指してきました。診療報酬の不合理さ、開設主体別の格差などは是正は未だ、道半ばです。社会保険財政の逼迫の元、今後の人口動態を見極めた地域医療構想は病院の存在に大きな影響を及ぼすでしょう。それでも、各病院は社会的要請に応えていく使命があります。

幸い、東京都病院協会の役員には、極めて有能な後輩たちが育つてきています。

会長を退任するに当たり、彼らに大きなエールを送るとともに、20年間のご厚情に感謝申し上げます。

I simply fade away.

# 副会長就任のご挨拶

安藤 高夫

永生病院 理事長

この度、猪口正孝新会長のもと、再び副会長を拝命いたしました。

東京都病院協会は、会員病院の医療の質の向上と、病院等の組織、医療の充実及び発展、そして経営の安定化を図っており、都民の保健・医療・福祉に寄与するために非常に重要な役割を担っています。

名誉会長となられた河北博文前会長は、東京の医療、日本の医療、そして医療のみならず社会全体を未来から見つめ、医療機関の存在意義やあるべき姿といった本質的な命題に対して、まるで吉田松陰のように私たちを導いてくださいました。河北博文前会長の志は、言わば「塾頭」でもあつた猪口正孝新会長が継承され、さらに深化させていかれると思います。私もいち「塾生」として、新会長を全力でお支えして参る所存です。

また、副会長をご勇退なされた古畑正先生、友池仁暢先生は、様々な面で都病協を支えていただき、元気づけていただきました。改めて感謝申し上げます。

皆様もご承知の通り、新会長は抜群



安藤高夫

の現場感覚と卓越した知見をお持ちです。東京都医師会でも副会長を務められており、医療情報、地域医療、救急・災害の3つを担当されています。

地方の県医師会で会長・副会長とも病院の医師が就任するということが起きていることからわかるように、今後の地域医療は病院と診療所の連携が期待されています。この点において、新会長は現在佳境に入っている地域医療構想調整会議を束ねておられ、高度急性期から急性期、回復期、慢性期、そして在宅と幅広い視点をもつて東京都の医療を俯瞰されています。都医と都病協の間ですます緊密な連携をとることで、東京都の地域医療を充実させていくことができるものだと、大きな期待をしています。また、首都直下地震が想定される中、救急・災害を熟知しておられる新会長が都病協を率えられることは、大変心強く思います。

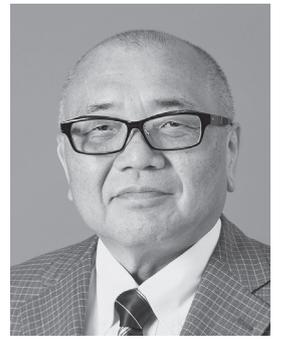
都病協は、会員の皆様が相互に情報を共有し、協力し合うための要の組織として、会員の皆様が適切な病院運営をできるような環境を整備することに全力を尽くして参ります。

会員の先生方には、引き続き「指導・ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。ご次第です。

猪口 雄二

寿康会病院 理事長

今回、東京都病院協会(以下都病協)は猪口正孝新体制となつた。新会長の行動力は抜群であり、東京都医師会副会長でもあり、さらなる力量と包容力のある都病協となることを期待した



猪口雄二

い。

さて、今回副会長を命ぜられた理由は、全日病会長であるがゆえに多くの情報が入るからであり、それを都病協に還元することで、より深い議論を可能とすることが私の役目と考えている。今、病院業界は大変な混乱を迎えている。「地域医療構想」はいよいよ混乱を深め、次々に次の矢が放たれている。そして、東京都は地域医療構想をまとめることが最も難しいと言われている。一方、医師の働き方改革は、通知は出たもののそれを浸透させるのはこれからである。ましてや病院運営に大きな影響を与える副業規定の通知もこれからである。大いに会員間で議論する必要がある。

また、診療報酬改定は消費税のありで本年10月に行われ、わずか半年後に本改定が行われる。現場の混乱は避けては通れないであろう。ましてや、本改定の財源は極めて厳しいものとなる。東京都は人件費、諸税等、経費が多かかり、最も経営環境が厳しい。是非、都病協としての改定要望等をまとめる必要がある。

都病協は、前身は6つの協会支部等であった。それを一つにしたのは、素晴らしい功績だと思う。地域医療構想、医師偏在対策等、意見を一つにするこ

とともに、我々の力を結集することでさらなる前進が得られるであろう。

猪口正孝新執行部が多くの果実を得られるよう、自分自身も惜しみなく力を発揮したい。そして、都病協に入会すると得るものが多いと感じてもらえれば、自ずと会員は増加する。会員数が多いということは絶対力を増すことになる。会員皆で力を合わせ、力のあ

大田 健

複十字病院 院長

まず初めに、この伝統ある東京都病院協会(以下都病協)の副会長に選任していただき、大変光栄に感じますとともに、しっかりと役割を果たすことを決意しているところでございます。

このたびは、本協会を会長として長年にわたって引継ぎ張って来られた河北博文先生が名誉会長になられ、新会長に東京都医師会副会長の猪口正孝先生が就任されるという大きな人事異動があり、そのなかで私は新たに副会長を拝命いたしました。都病協では2013年から理事として活動して参りましたが、河北先生の会長としてのリーダーシップと、一緒に支えておられる5名の副会長のお仕事ぶりを拝見して、重要な課題への筋の通った討論とその後



大田健

した。そのような重要なポストに私が選定されることは想定外でございしたが、選ばれたからにはきちんと役割を果たしたいと思っております。

私は、2012年から国立病院機構東京病院院長、2018年から公益財団法人結核予防会複十字病院院長として、東京都下の清瀬市で仕事をしております。私は、1975年に東京大学医学部を卒業し、呼吸器およびアレルギーを専門として、東大病院、国立医療センター(現在の国立国際医療研究センター)、聖マリアンナ医科大学、帝京大学と異なる医療施設で医療に携

わって参りましたが、環境が変わっても、臨床はオーソドックスに、研究はユニークに、そして医療は自分や自分の家族が受けた内容を誠実に実践することを心がけて参りました。そして、都病協の理事会に加わることにより、医療の状況を身近に触れることが出来たと思っております。

今後は、各医療機関を主宰される諸先輩の意見を伺い、今後合意される医療体制への介入と実践に向けて、副会長という役割を自覚して参画し協力したいと考えております。そして、より良い医療制度のもとで日々の診療が実践できる体制の確立に少しでも寄与できればと考えている次第です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

内藤 誠二

内藤病院 理事長・院長

みなさまこんにちは、令和元年度総会、理事会におきまして猪口正孝新会長からご指名をいただき副会長に就任させていただきますました内藤誠二です。私は東京都病院協会発足の母体の一つ



内藤誠二

である東京都私立病院会当時から先輩方からご指導いただき、さらに東京都病院協会が発足してからも先輩方を手本にして何とか今日まで来ていると実感しています。

当院は渋谷区初台にあります53床の一般急性期病院で、現在3代目として理事長・院長を務めています。以前は救急病院として緊急手術にも対応していましたが、現在は内科系を中心とした地域包括ケアを支える病院として地域医療の一翼を担っています。私は以前から地域の人の生活と医療の関わりに興味があり、特に社会の高齢化が進むとともに日々の生活への医療の関わりが大きくなっていくことを強く感じていました。特に都病協の推薦で2013年6月から一期ではありますが東京都医師会理事を務めさせていただき、医療介護の分野で地域包括ケアシステムを担当させていただいてからは、ますます地域と連携した医療の提供を意識するようになりました。また都医の任期中の14年には「地域密着型病院が地域を支える」をテーマに第9回東京都病院学会会長を務め、自院の方向性が固まった時期でもありました。

現在では地域医療構想調整会議の中で自院の地域での役割をしっかりと考え実践していかなくてははいけません。

で、多くの民間病院は「地域包括ケアシステムを支える」ことを意識していく必要があります。しかし大切な役割でありながら継続していくことに大変な努力・労力が必要な現状の中で会員病院が情報共有、協力し合い病院協会が団結していくことが重要と強く感じています。

今回副会長として承認いただき、急に大きな舞台に引継ぎ出された気がして不安もありますが、皆さんの力を借りつつ猪口新会長を支えて東京都病院協会を前進させていくつもりです。皆さんよろしくお願ひ致します。

平川 淳一

平川病院 院長

東京都精神科病院協会(以下東精協)会長の平川淳一です。東京都病院協会は、東京にあるいくつかの病院団体当初は6つだったと思いますが、が病院協会という枠で集まって、発足したことから、各団体から副会長を出すという決まりがあったように思います。それが今ではやや緩んでいるのか、はっきりそのルールを確認はできなくなっています。しかし、そのような中でも副会長に選んでいただけたいことは幸いと存じます。

我々、東精協はさまざまな事業を行っておりますが、その中でも、救急事



平川淳一

# 東京都病院協会役員名簿

令和元年7月17日現在

名誉会長	河北 博文	社会医療法人河北医療財団	理事長
特別顧問	福井 光壽	東京都医師会	元会長
顧問	古畑 正	古畑病院	院長
顧問	山口 武兼	公益財団法人東京都保健医療公社	理事長
参与	新井 悟	東京都医師会	理事

役職名	氏名	経営主体	病院名	役職
会長	猪口 正孝	医療法人社団	平成立石病院	理事長
副会長	安藤 高夫	医療法人社団	永生病院	理事長
〃	猪口 雄二	医療法人財団	寿康会病院	理事長
〃	大田 健	公益財団法人	複十字病院	院長
〃	内藤 誠二	医療法人社団	内藤病院	理事長
〃	平川 淳一	医療法人社団	平川病院	院長
常任理事	伊藤 雅史	社会医療法人	等潤病院	理事長
〃	江口 輝男	医療法人社団	旗の台病院	理事長
〃	大坪由里子	特定医療法人	三軒茶屋病院	院長
〃	小川 聡子	医療法人社団	調布東山病院	理事長
〃	上條 由美	学校法人	昭和大大学江東豊洲病院	副院長
〃	川内 章裕	医療法人社団	池袋病院	院長
〃	木村 厚	社会医療法人	一成会木村病院	理事長
〃	東海林 豊	医療法人社団	東京さくら病院	院長
〃	進藤 晃	医療法人財団	大久野病院	理事長
〃	高野研一郎	個人	高野病院	院長
〃	竹川 勝治	医療法人社団	愛和病院	理事長
〃	土谷 明男	医療法人社団	葛西中央病院	理事長
〃	中西 泉	医療法人社団	町田慶泉病院	理事長
〃	宮崎 国久	公益社団法人	東京北医療センター	管理者
〃	山田 雄飛	医療法人社団	山田病院	理事長
理事	飯野 孝一	医療法人社団	飯野病院	理事長
〃	石田 信彦	医療法人社団	多摩リハビリテーション病院	理事長
〃	片山 久	社会福祉法人	江戸川メディケア病院	名誉院長
〃	小泉 和雄	社会医療法人	いずみ記念病院	理事長
〃	越永 守道	社会福祉法人	信愛病院	院長
〃	中村 隆	医療法人社団	中村病院	理事長
〃	横山 孝	公益財団法人	河野臨牀医学研究所	理事長
監事	木村 佑介	医療法人社団	東京ちどり病院	名誉院長
〃	戒井 重樹	監査法人	MMPGエーマック	代表社員
部会長	田野倉浩治	医療法人社団	永生病院	事務部長
〃	高嶋 則子	医療法人財団	岩井整形外科内科病院	看護部長

業、災害対策、自殺対策、感染症対策、認知症施策など、一般科と連携が重要な分野も多くあります。救急事業では、精神科医療が退院促進をしているため、地域で生活される精神疾患を抱えた患者さんが救急搬送された場合に処置は終了しても、自宅に戻れないと判断された場合の精神科病院での受け入れの円滑性、迅速性を高める事業や、自殺未遂患者の希死念慮が継続している場合の精神的危機介入、災害時のメンタルヘルスや精神疾患への対応、インフルエンザの大流行時期の精神疾患患者への対応の検討、認知症の人の合併症やせん妄対応や認知症対応力向上研修など、一般科の皆様と大都市東

## 理事就任のご挨拶

京都民の安心、安全を図っていきたくと考えています。また、地域医療構想などにおいてもお気づきかもしれませんが、慢性期病棟と同様、回復期リハビリテーション病棟に転換する精神科病棟も出てきています。精神科病院もずつとじつとしているわけではありませんが、皆様と一緒に、時代のニーズに合わせて医療提供をしていきたいと思

## 越永 守道

信愛病院 院長

このたび令和元年度総会にてご承認

ます。我々にとって、河北会長の退任は、令和という新しい元号を象徴する出来事になったと思います。もう先輩に甘えて、先導していただく年齢ではありません。自分たちの頭で考えて、前進していきたいと思えます。どうかよろしくお願ひします。

いただき東京都病院協会理事に就任いたしました社会福祉法人信愛報恩信愛病院の越永守道です。当院は、北多摩北部医療圏に属する199床のケア



越永守道

ミックス型病院です。病棟の内訳は、一般病棟、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、介護型医療施設となっております。重急性期および回復期から慢性期の病床を運用しています。当法人は隣接する特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム、訪問看護ステ

ーション、在宅系介護サービスセンター、清瀬市からの委託事業として地域包括支援センターなども運営しており、地域包括ケアシステムの中核を担えるように法人内外の事業所との連携を強めるべく整備を進めているところです。また私ども社会福祉法人は生活保護などの生活困窮者や様々な事情で困っている人を積極的に助けることを使命としています。その一環として当院では無料低額診療事業を行っており、また3年前前から日本に在留する外国人難民のための無料医療健診事業にも参加しております。

さて近年は急速に高齢化が進み社会保障費や人材の不足などから医療介護業界は厳しい状況に立たされています。医療費の削減や人件費の高騰など、目の前の問題に対処するだけで精一杯となり、医療や介護を提供するものとして「正しいことを当たり前に行うこと」が難しくなってきたと実感しています。いくら正しい社会の在り方を説いても、「事を正しく行うこと」ができなければ、正しい社会の実現はありません。それを可能にするには高い志を持つ仲間と協調して行動することが重要と思っております。このたび、東京都病院協会の理事のお仕事を賜りましたことを大変光栄に感じるとともに、仲間とともに東京都における病院のあるべき姿、進むべきビジョンを共有し、その価値を高めるお手伝いができればと思っております。また諸先輩から多くのことを吸収させていただき、少しでも協会のお役に立てるよう努めて参る所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

第14回東京都病院学会開催にあたって

学会主題 「私たちはどう生きるか」

—持続可能な病院経営を考える—

第14回東京都病院学会 学会長 竹川 勝治

2020年2月23日(日)にアルカディア市ヶ谷において第14回東京都病院学会を開催いたします。この度、学会長を拝命いたしましたのでご挨拶させていただきます。

2005年、「厳しい目が医療を育てる」(学会長・現・河北博文名譽会長)を主題として第1回東京都病院学会が開催されました。あれから15年が経過しましたが東京都病院協会の理念は当時から変わっておりません。しかし、その活動は年々活発になっていきます。東京都医師会の会員でもある我々は病院団体として東京都医師会と密に連携をとっています。よって、東京都病院学会に東京都医師会からも多数ご参加いただいております。

ここに心より感謝申し上げます。この間、その状況に応じ各学会長が熟考され、様々な主題で議論をしてまいりました。



竹川勝治

医療の信頼創造・格差・再生・現場・危機管理・機能評価・地域密着・2025年問題・地域包括ケア・地域医療構想等です。

10年ごとに東京で行われる全日本病院学会が2018年10月に行われたため2019年2月の東京都病院学会は休会となりましたが、友池仁暢副会長(当時)の発案により「病院のフレイル化を防ぐ」を主題にサテライトシンポジウムを開催し、経営の視点から東京の病院に関して議論をいたしました。

この経営の重要性と質の維持を踏まえて第14回東京都病院学会の主題を「私たちはどう生きるか」、副題を「持続可能な病院経営を考える」といたしました。

主題の由来をご説明したいと思えます。以前、「君たちはどう生きるか」という演題で河北博文名譽会長が早朝勉強会(東京の病院経営者を中心に毎週金曜日朝6時半から行っている勉強会です。開催回数は1500回近くになります)において講演をして下さいました。題目は1937年初版の吉野源三郎の同名著作から付けたことでした。同書の主人公15歳のコペル君が生き方について叔父さんと語り合う

筋書きで、最近もブームとなりベストセラーになった本ですから、ご存知の方も多いでしょう。

この時の河北名譽会長のお話をきっかけに、自分たちの病院は自分たちで守り、さらにどうするかを自分たちで考えなくてはいけないと改めて感じたのです。そして、早朝勉強会だけでなく、広く協会の皆様が集まる学会を通じて意見交換を行い、東京の病院経営を学び、語れるようになれば良いと考えています。ついながら、早朝勉強会では「学び・考え・感じ・行い」ことを常に心において出席することが約束になっております。学会も、ぜひこの姿勢をもってご参加いただければと思っております。

医療法第1条の5には「病院は、傷病者が、科学的でかつ適正な診療を受けることができる便宜を与えることを主たる目的として組織され、かつ、運営されるものでなければならぬ」と記されています。

医療はいつの時代、どこの社会でも人間の生活に必要とされてきました。また、医療そのものにも時代や地域によって異なった形があります。医療が進化していく上で病院も、その立場での質を考えて進化していかなければ

けないと考えられます。

そしてこれを楽しく明るく語れるような場にしていきたいと思えます。

副題には「SDGs」(持続可能な開発目標)の考えを取り入れました。サテライトシンポジウムにおいて私から紹介させていただきましたが、今回の学会でもやはり、このことを念頭に、豊かで活力ある未来を創る、その一翼を担うという想いがあります。2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたものですが、

「誰一人取り残さない(No one will be left behind)」を理念として、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため2030年を年限とする17の国際目標が提唱されています。

具体的には①貧困、②飢餓、③保健、④教育、⑤ジェンダー、⑥水・衛生、⑦エネルギー、⑧成長・雇用、⑨イノベーション、⑩不平等、⑪都市、⑫生産・消費、⑬気候変動、⑭海洋資源、⑮陸上資源、⑯平和、⑰実施手段—などに関わる課題を解決することを掲げています

「第14回東京都病院学会」開催概要

- 名称 : 第14回東京都病院学会
- 日時 : 令和2年2月23日(日) 午前9時~午後5時
- 開催場所 : アルカディア市ヶ谷 (JR市ヶ谷駅 徒歩2分)
- 学会長 : 竹川勝治 (東京都病院協会 常任理事、愛和病院 理事長)
- 学会主題 : 「私たちはどう生きるか—持続可能な病院経営を考える—」
- 後援(予定) : 公益社団法人東京都医師会・東京都
- 協賛(予定) : 全日本病院協会東京都支部・日本病院会東京都支部

連絡・問い合わせ先 : 東京都病院協会 事務局

〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台 2-5  
 東京都医師会館 404号  
 TEL : 03-5217-0896  
 FAX : 03-5217-0898  
 Mail : gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp (学会専用)

# 一般社団法人東京都病院協会定款 変更のお知らせ

本年6月18日に行われた令和元年度定時総会にて、定款第49条に基づき、定款の一部変更が決議されましたのでご報告いたします。

## 1. 第4条(事業)の改正 改正の趣旨

平成30年度第11回理事会(3月19日開催)において、新たな在留資格である「特定技能」により日本で介護職として働くことに希望をもって来日した外国人が、都内の病院または関連する介護施設で安定した生活基盤と誇りをもって働ける環境を整えるため、下記の2点を目指し、「特定技能」制度について東京都病院協会として情報収集活動を行うことが承認されました。

- ① 東京都病院協会が1号特定技能外国人を支援する登録支援機関となり、又は他の登録支援機関と連携するなどして、介護分野における1号特定技能外国人を支援する。
- ② 制度の適切な運用を図るため、厚生労働省が設置する「介護分野における特定技能協議会」に業界団体として参加し、制度の運用に関与する。

これに伴い、当協会の事業として、第4条第10号に「出入国管理及び難民認定法に定める登録支援機関として行う1号特定技能外国人への支援事業」を追加しました。

### 【※下線部分を追加】

#### (事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)~(9) (条文省略)
- (10) 出入国管理及び難民認定法に定める登録支援機関として行う1号特定技能外国人への支援事業
- (11) (条文省略)

※改正後の定款全文につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

[http://www.tmha.net/poster\\_pdf/2019-06-18teikan.pdf](http://www.tmha.net/poster_pdf/2019-06-18teikan.pdf)

が、考えてみると、これまで東京都病院学会で主題とされてきたことが世界に置き換えられて語られている気がします。

今回の東京都病院学会においてSDGsにならって以下を解決すべき課題として挙げたいと思います。

**普遍性**…全ての病院(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)が行動する

**包摂性**…人間の安全保障の理念を反映

し「患者さん、誰一人残さない」

**参画型**…全ての病院が役割を

**統合性**…地域社会・病院経営・環境に統合的に取り組む

**透明性**…定期的にフオーアアップ(病院機能評価)

今回の東京都病院学会において再認識したいのは上記項目ですが、喫緊の課題として学会の5カ月後に行われる東京オリンピック・パラリンピックへ

の病院の対応に関しては大いに議論していただきたいと思えます。また、地域医療構想調整会議もいよいよ正念場を迎えています。地域医療構想を策定する際に掲げられた東京都の「2025年の医療」(グランドデザイン)である「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる」(東京)の実現のための4つのテーマについても、議論を深めるべきだと思います。

- I 高度・先進医療提供体制の将来にわたる進展 (大学病院等が集積する東京の「強み」を活かした医療水準のさらなる向上)
- II 都の特性を活かした切れ目のない医療連携システムの構築 (高度急性期から在宅医療に至るまで、東京の医療資源を最大限活用した医療連携の推進)
- III 地域包括ケアシステムにおける、治し、支える医療の充実 (誰もが住み慣れた地域で生活を継続できるよう、地域全体で治し、支える「地域完結型」医療の確立)
- IV 安心して暮らせる東京を築く人材の確保・育成 (医療水準の高度化に資する人材や高齢社会を支える人材が活躍する社会の実現)

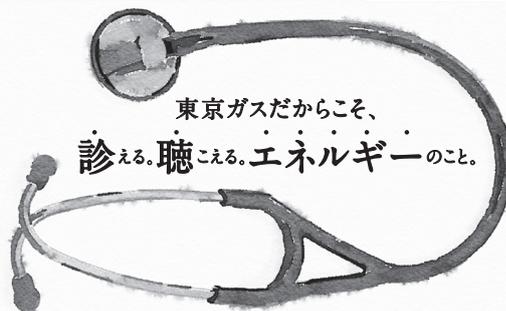
に關して、2025年以降のことも我々は長期的視野で考えておかななくてはならないと思えます。

東京に關しても人口の減少は必ずやつてきます。しかし、縮小しながらも成長するにはどうしたら良いか? 公的資金で成り立っている現在の医療・介護制度では必ず限界がやってきました。在宅医療にも限界があります。これを改善するには全国一律の診療・介護報酬制度ではなく、これに取まらない東京都入院基本料の創設が必要です。このような制度面にまで学会で議論できれば幸いです。

東京で求められる医療とはどのようなもので、それに貢献していくために自分たちにはどのようなことが求められ、またどのように制度を変えていければ良いのか——ここまで考えられる東京都病院学会でありたいと切に願います。

## エネルギーの悩み、お聴かせください

東京ガスは医療施設へのエネルギー供給を通じて、医療業界に深く関わってきました。医療施設を取り巻く環境が変化している中で、災害対策・経営効率化・地域への貢献などの課題に対して、東京ガスは培ったノウハウを活かし、お客さまとともに解決策を探していきます。



東京ガスだからこそ、**診**える。**聴**こえる。**エ**ネルギーのこと。

## 東京ガスの電気は顧客満足度第1位!

2017年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査 電力小売部門  
※調査対象5社(ENEOSでんき・auでんき・大阪ガス・J.COM電力・東京ガス)

ぜひ、下記までお問い合わせください

東京ガス株式会社  
都市エネルギー事業部 公益営業部  
東京都港区海岸1-5-20

TEL.03-5400-7735